

取り付け上のお願い

- 下記は「建設工事」に区分され、関連する法令、規定に従って法的有資格者が行う必要があります。
 - 大工工事（設置のための下地工事等）
 - 配線工事（コンセントの設置、コンセント・コネクター利用以外の配線接続等）
 - 管工事（ダクト配管及びレンジフードからのダクト接続等）
 流通業者（販売店）を通して組立・設置する場合は、「建設工事」とそれ以外の「組立・設置」を区別して行ってください。
- 調理機器の幅はレンジフードの幅以内のものをご使用ください。調理機器はレンジフードの前面より手前にはみ出して設置しないでください。排気効率が低下します。
- 電源は専用コンセントおよびブレーカーを設けてください。火災・故障の原因になります。
- 屋外壁面の排気出口に取り付けるベントキャップまたはパイプフードの適気抵抗は400m²/h時50Pa以下のものをご使用ください。適気抵抗はレンジフードの前面より手前にはみ出して設置しないでください。排気性能が低下する場合がありますのでご使用しないでください。
- ダクトの不燃処理について
 - ダクトを50mm以上の不燃材料、または20mm以上の国土交通大臣不燃認定品の不燃材料で被覆してください。
 - 施工要領は、各メーカーの「標準施工要領技術指導書」・「検査要領書」に従ってください。
- 製品は調理機器の真上に取り付けてください。なお、製品取付高さは、製品の下端が調理機器の真上80cm以上になるようにしてください。
- 寒い地域ではダクトが結露し本体内部に結露水が流れる場合がありますので断熱材を巻くなどの対応をしてください。
- 製品仕様を改造してのご使用は絶対におやめください。
- 非常に長いダクトや細いダクト、あるいは極端に屈曲したダクトは排気効果をいじりやすく低下させたり、騒音が大きくなりますので使用しないでください。
- レンジフード取り付け面の木部に、取り付け用座付ねじが確実に届くことを確認してください。本体の取り付け用座付ねじは、45mmの長さのものに屈曲してありますが、壁下地に石膏ボード等が貼られている場合は、石膏ボード等の厚さを確認し、取り付け用座付ねじが確実に木部に届くことを確認してください。
- レンジフード下部には、湯沸器を絶対に取り付けず、また、横方向50cm以上離して取り付けしてください。湯沸器の真上は高熱になるため故障の原因になります。
- 建物が密閉されている場合は、約400cm程度の空気取入口を設けてください。
- 部屋の中央で料理される場合は、油煙が捕集しきれませんので、お台所の全体換気のために、他の換気扇と併用していただければ、よりすぐれた換気ができます。

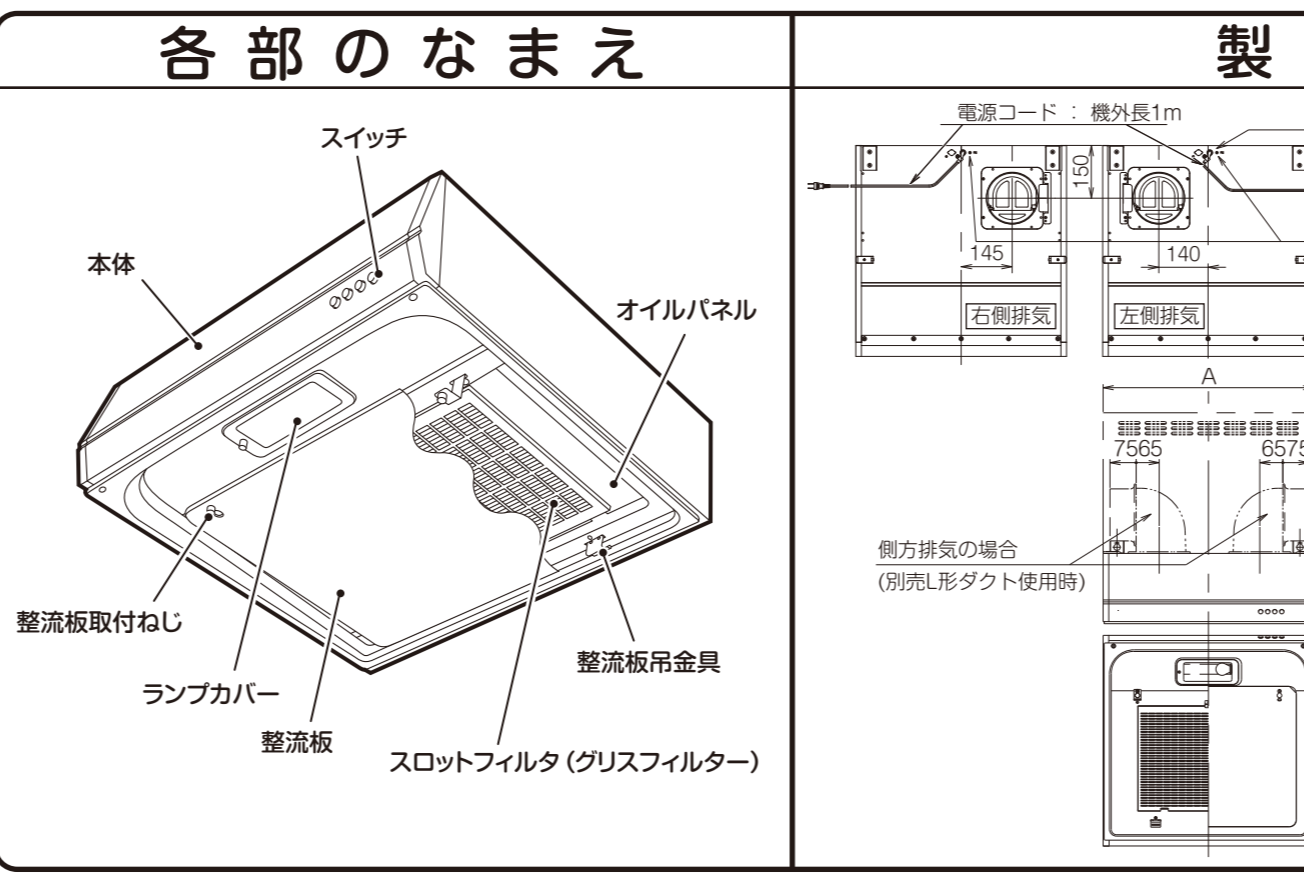
取り付け前の調査と準備

- ### 警告
- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります
 - レンジフードは、薄板の金属部（壁内ラスタ網など）と接触しないよう取り付けること
漏電した場合、発火のおそれがあります
 - 本体とダクトは、可燃物との間を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと
火災などの原因になります
詳しくは、所轄の消防署にお問い合わせください
 - 排気工事をされる場合は建築基準法（同施工令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事を行うこと
火災などの原因になります
 - レンジフードの壁への埋め込みはしないこと
漏電した場合、発火のおそれがあります

- ### 注意
- レンジフードの取り付けは十分強度のあるところを選んで確実にすること
落下により、けがをすることがあります
 - 取り扱いは、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをすることがあります
 - 周囲温度が40℃以上になるところには取り付けないこと
火災・故障の原因になります
- #### 1. 取り付け面の強度確認
- ……製品を支える強さが重要です。
- | | |
|------|-------------|
| 600幅 | 製品質量 13.0kg |
| 750幅 | 製品質量 14.5kg |
| 900幅 | 製品質量 16.0kg |
- 製品を支える強さが重要です。
- #### 2. 別売部品の準備
- 排気工事に伴って別売部品の準備が事前に必要です。
- #### 3. 標準取付寸法
- 本製品の標準取付寸法は調理機器の上面から製品の下端まで80cmです。
※火災予防条例では、グリッドフィルターの下端が調理機器の真上80cm以上必要となっています。
- #### 4. 電源コンセント・ブレーカー
- 電源コンセント・ブレーカーは専用のものを設置してください。（交流・単相 100V）
コンセントは、JIS C 8303 2極差込接続器（15A125V）をご使用ください。

安全上のご注意

- 取り付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく取り付けを行ってください。ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あまたや他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は、危害や損害の大きさと防止の程度を明示するために、誤った取り扱いをすることを想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
 - **警告:** 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
 - **注意:** 人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。
- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。
- 記号は行為を禁止する内容を表しています。図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
- 記号は行為を強制したり指示する内容を表しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。
- ### 警告
- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります
 - アースを確実に取り付けること
故障や漏電のときに感電するおそれがあります
アースの取り付けは販売店にご相談ください
 - 自然排気型のストープを使用するときは、空気の取入口（給気口）により十分給気される給気口を使用すること
給気口が室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります
 - 排気工事をされる場合は建築基準法（同施工令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事を行うこと
火災などの原因になります
 - レンジフードは、薄板の金属部（壁内ラスタ網など）と接触しないよう取り付けること
漏電した場合、発火のおそれがあります
 - 交流100V以外では使用しないこと
火災・感電の原因になります
 - 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事を行うこと
誤った配線工事は感電や火災の原因になります
 - メタルスズ張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルスズ、ワイヤラス、金属製ダクトが電氣的に接触しないよう取り付けすること
漏電した場合、発火したり感電するおそれがあります
 - 本体とダクトは、可燃物との間を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと
火災などの原因になります
詳しくは、所轄の消防署にお問い合わせください
 - レンジフードの壁への埋め込みはしないこと
漏電した場合、発火のおそれがあります
- ### 注意
- 運転中は指や物を絶対に触れないこと
けがをすることがあります
 - レンジフードの取り付けは十分強度のあるところを選んで確実にすること
落下によりけがをすることがあります
 - 周囲温度が40℃以上になるところには取り付けないこと
火災・故障の原因になります
 - ファンや部品の取り付けは確実にすること
落下によりけがをすることがあります
 - 取り扱いは、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをすることがあります
 - 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと（浴室用換気扇をお使いください）
感電および故障の原因になります

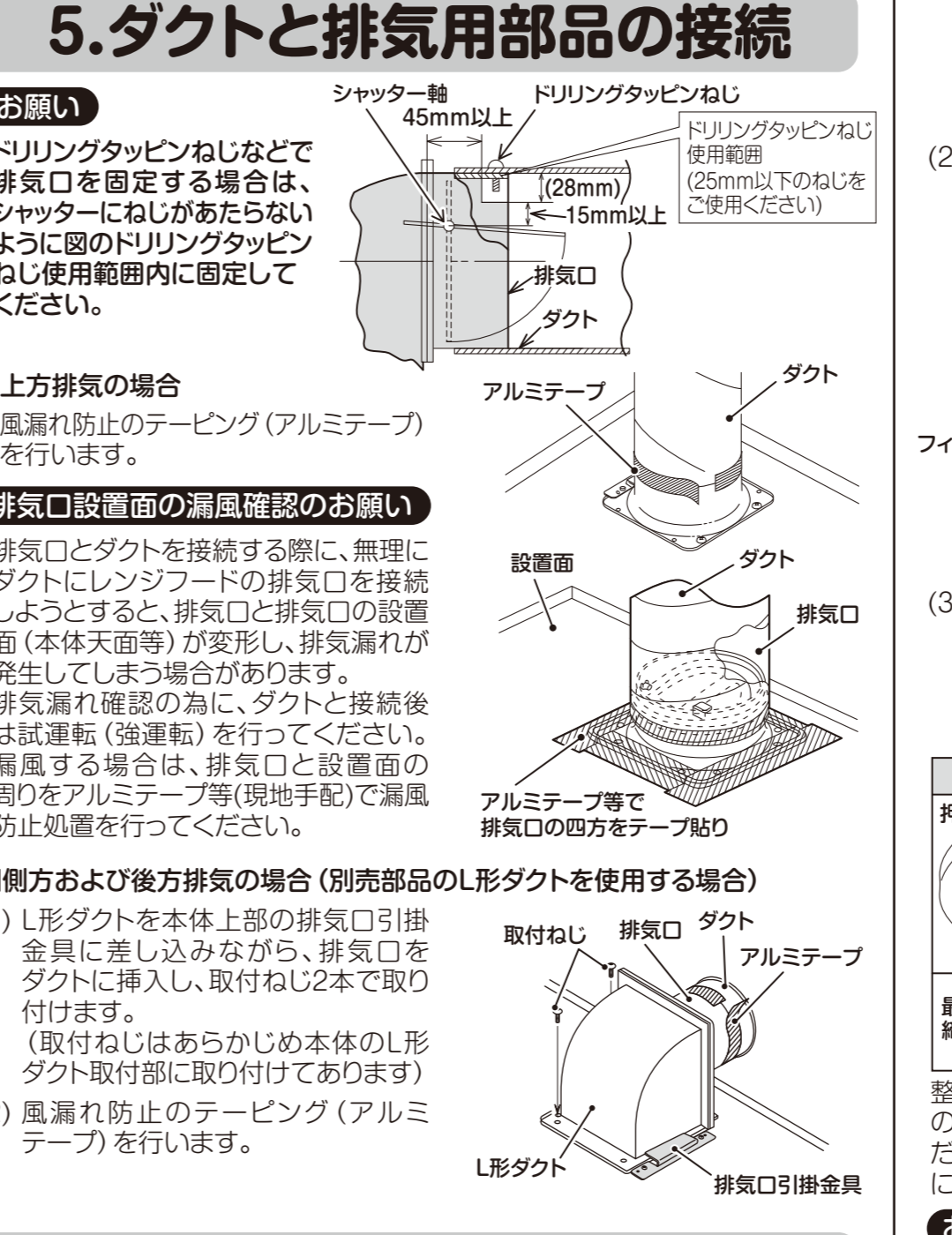
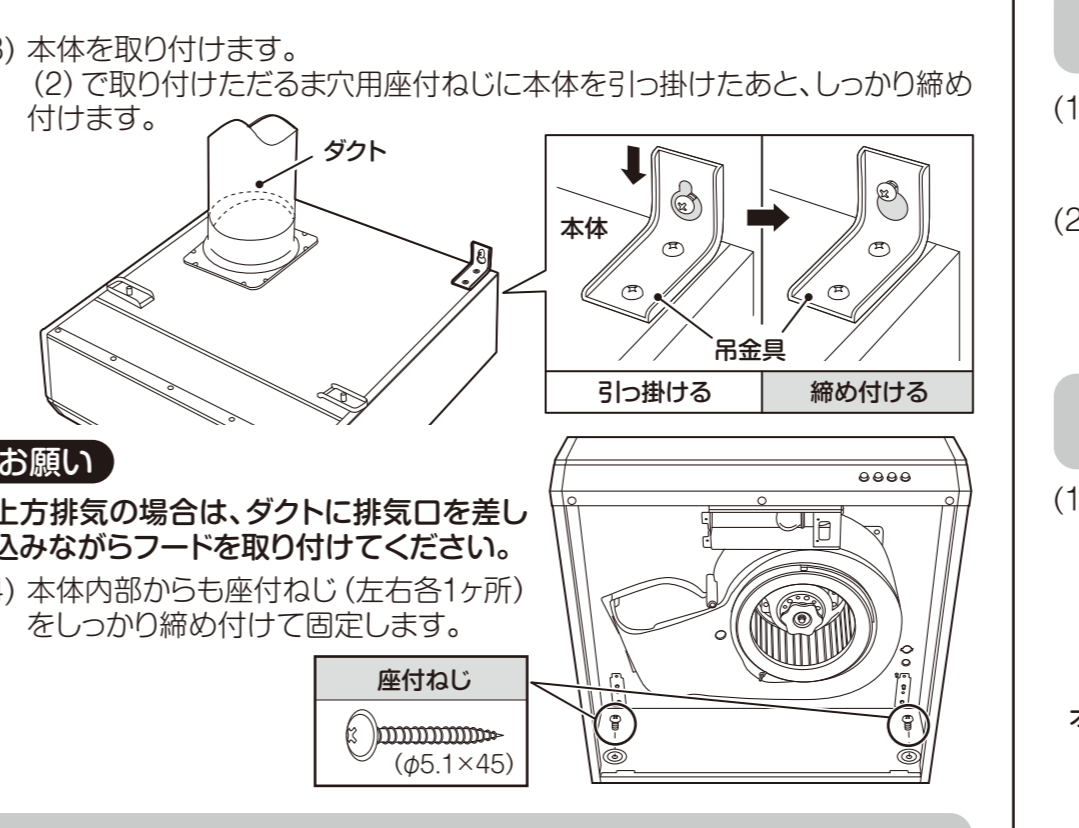
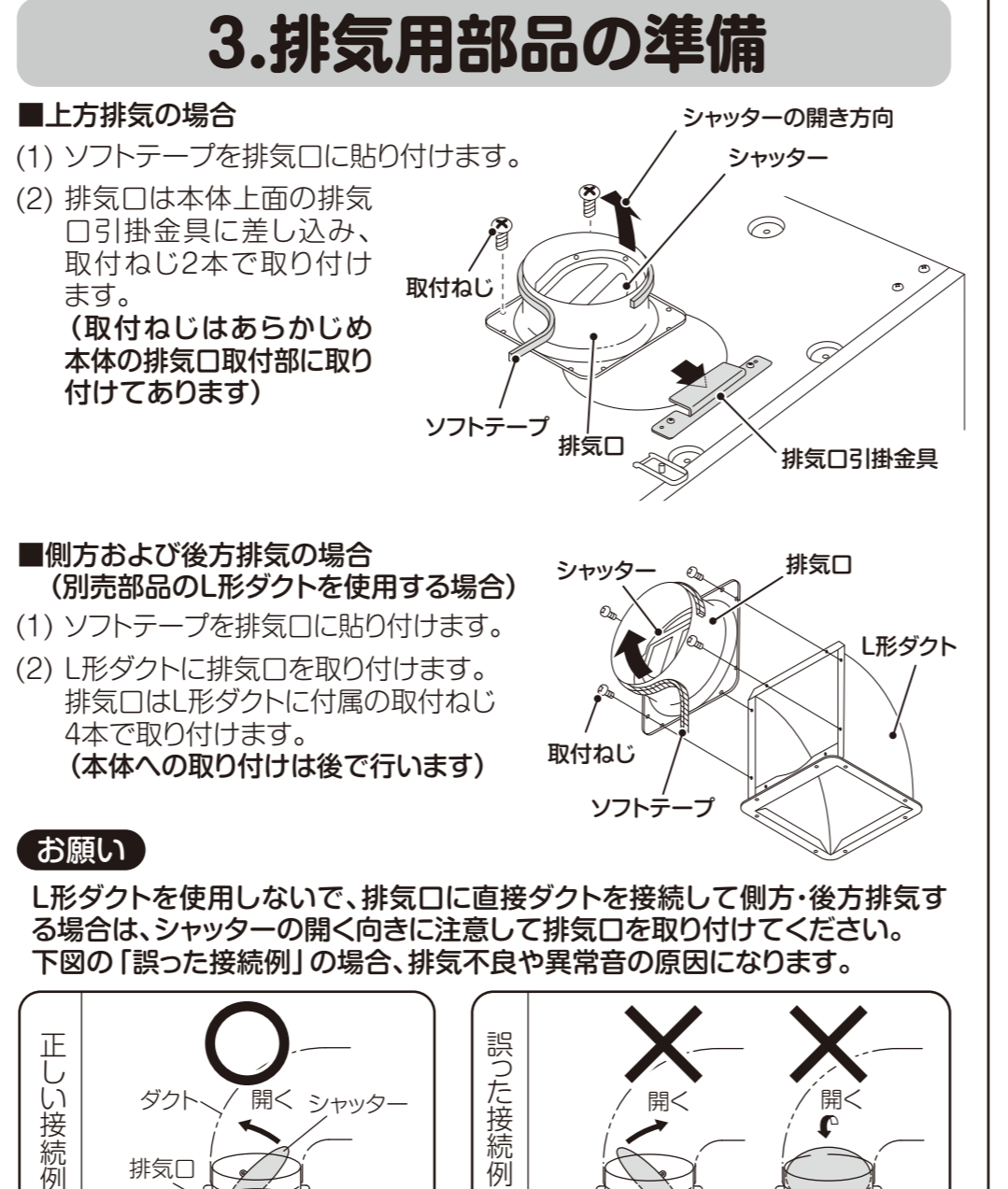
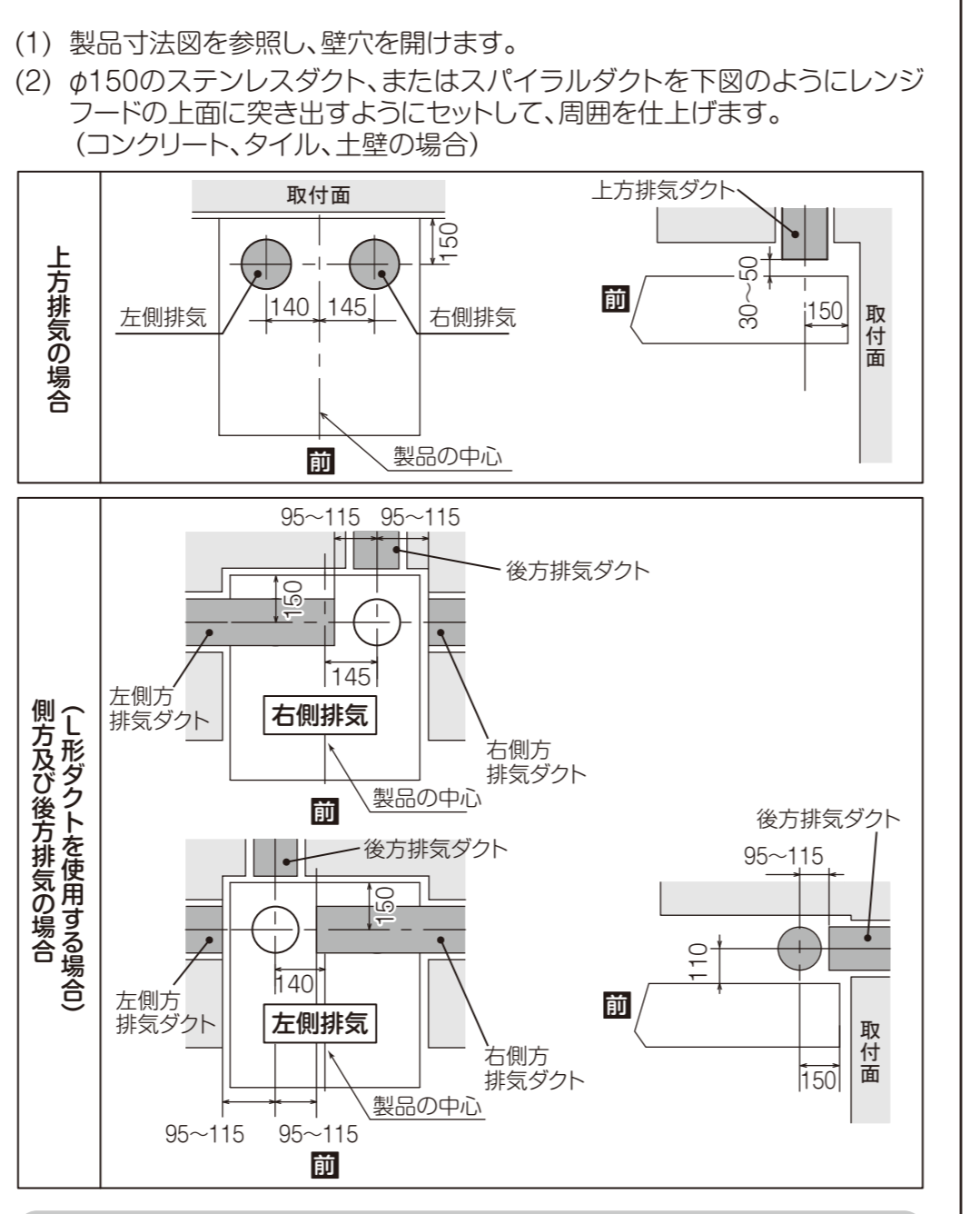
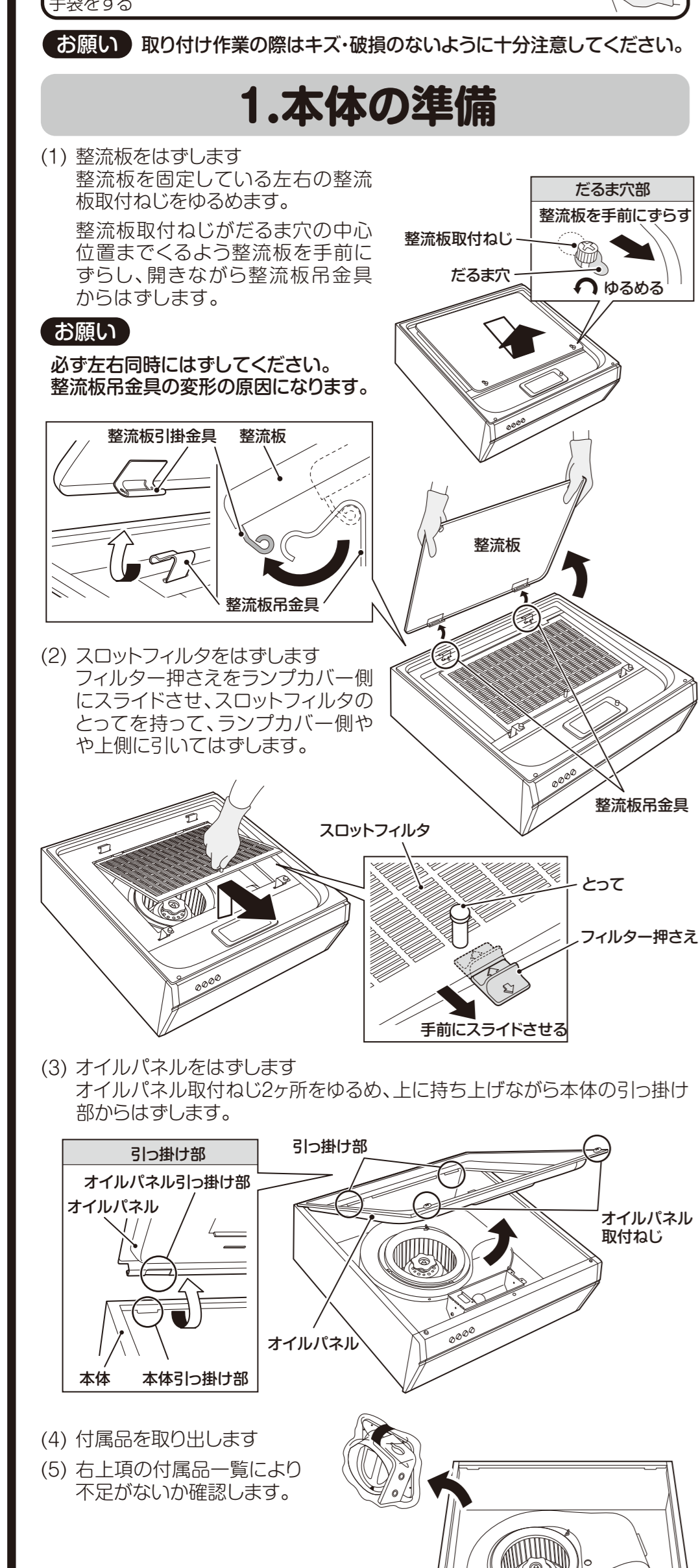


付属品（本体内部に同梱）

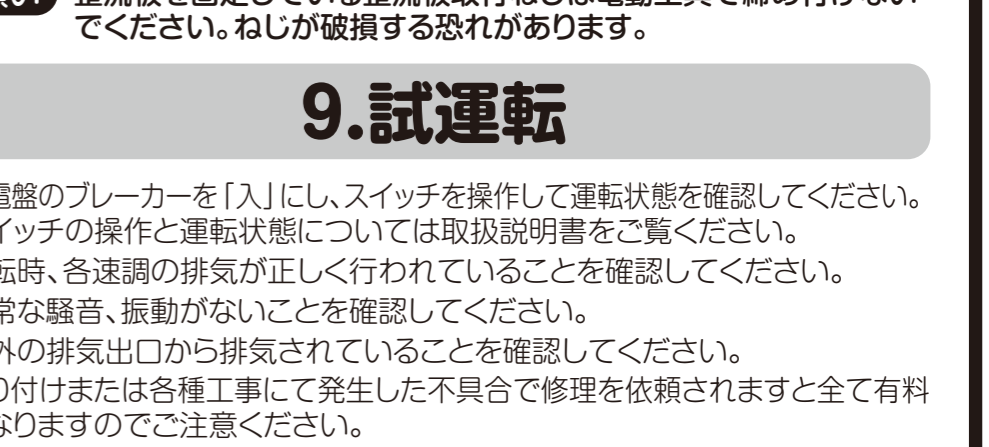
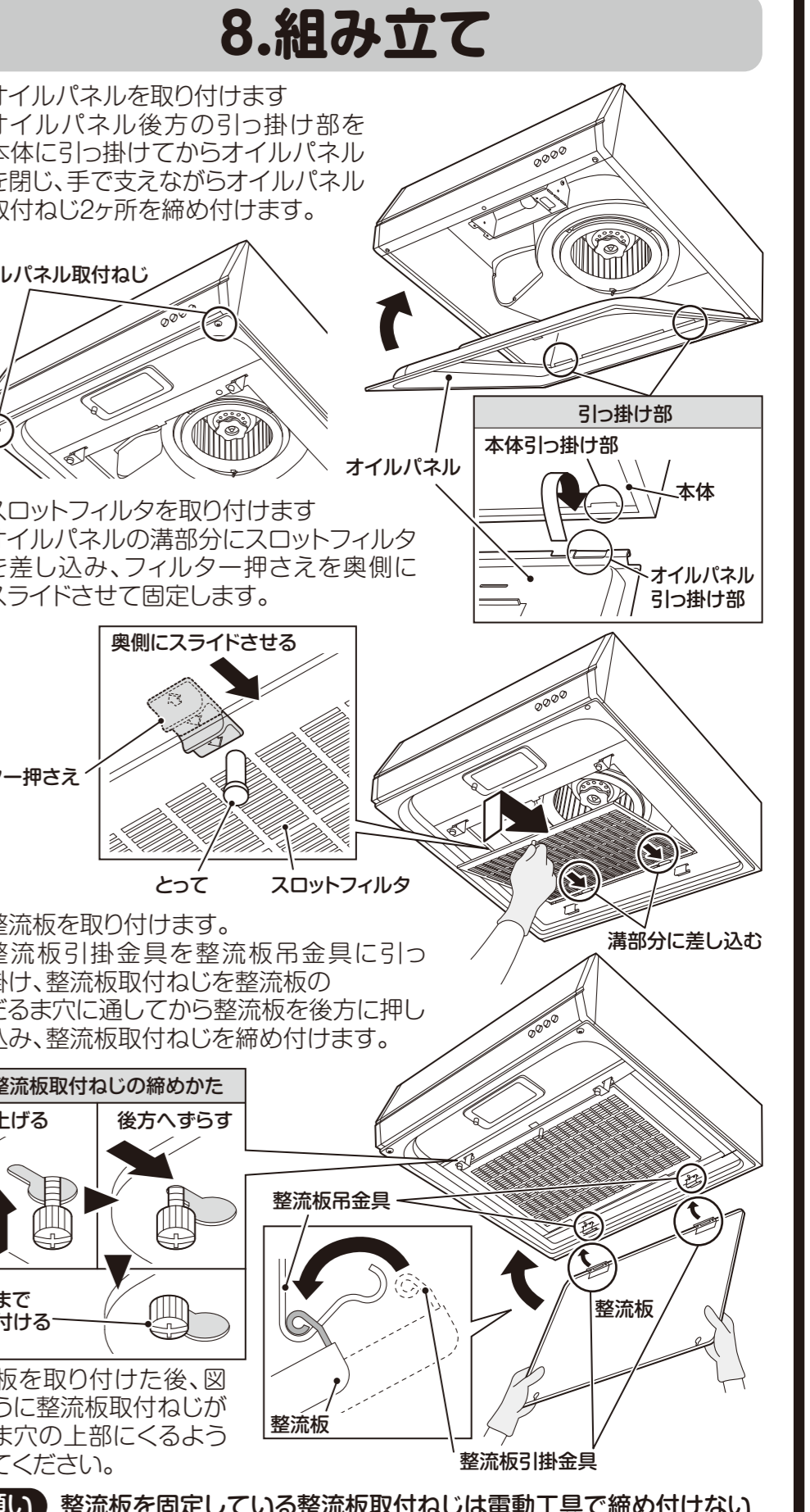
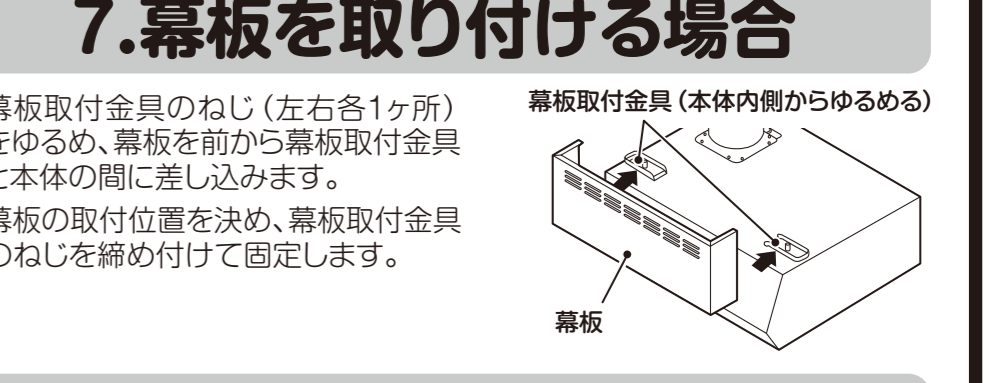
品名	略図	用途
座付ねじ		本体の取り付けに使用します。 φ5.1×45 4本
吊金具		本体の取り付けに使用します。 2個
排気口		本体とダクトの接続に使用します。 逆風防止シャッター付です。 1個
ソフトテープ		排気口とダクトのすきまをふさぐのに使用します。 1本

取り付けかた

- ### 注意
- 取り扱いは、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをすることがあります
- お願い 取り付け作業の際はキズ・破損のないように十分注意してください。



- ## 6. 電気配線
- ### 警告
- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります
 - アースを確実に取り付けること
故障や漏電のときに感電するおそれがあります
アースの取り付けは販売店にご相談ください
 - 交流100V以外では使用しないこと
火災・感電の原因になります
 - 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実にすること
誤った配線工事は感電や火災の原因になります
- アース（0種接地工事）を取ります。
※アース線は取り付け作業時に手配してください。
 - 分電盤のブレーカーを「切」にし、電源プラグをコンセントに差し込みます。
- お願い ● 電源は専用のコンセント（2極差込接続器 15A、125V）およびブレーカーを設けてください。
● コンセントは、電源コードの長さを考慮して設置してください。



10. お客様への説明

● 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。
● 取扱説明書と共に、この取付説明書を必ずお客様にお渡しください。

（販売元） **フジテックメンテナンス株式会社**
〒252-0206 相模原市中央区淵野辺2丁目1-9
お問い合わせ 042-753-1447（営業部 エアプロG）
FAX 042-768-3383
ホームページ http://www.airpro-pj.jp/
受付時間 9:00~17:45（土、日、祝日、夏季休暇、年末年始を除く）

（製造元） **富士工業株式会社**
〒252-0206 相模原市中央区淵野辺2丁目1-9
お客様ご相談窓口 0120-071-686
受付時間 9:00~18:00（土、日、祝日、夏季休暇、年末年始を除く）